

主な被災労働者援護事業

29年度予算額：約97億円

被災者援護のための費用を支給

事業概要	実績(平成28年度)
<p>被災労働者の遺族や重度障害を受けた被災者などで、その子どもの学資の支払いが困難な方に、以下の学資を支援 (1人当たり月額)</p> <p>保育を要する児童：12,000円 小学生：14,000円 中学生：18,000円 高校生：16,000円 (ただし、通信制高校に在学する者にあつては、13,000円) 大学生：39,000円 (ただし、通信制大学に在学する者にあつては、30,000円)</p>	<p>・支給対象者数</p> <p>保育を要する児童：449人 小学生：2,571人 中学生：2,235人 高校生：3,010人 大学生等：2,270人</p>

労災特別介護施設などの運営

事業概要	実績(平成28年度)
<p>ケアプラザの設置運営</p> <p>(在宅での介護を受けることが困難な高齢の重度被災労働者に対して、傷病・障害の特性に応じた専門的な施設介護サービスを提供)</p>	<p>・入居者からの、介護サービスが有用であったとする評価：93.5%</p> <p>・入居者数：約695人(入居率88.6%)</p>

事業概要	実績(平成28年度)
<p>労災ケアサポーターによる訪問支援等</p> <p>(在宅で介護、看護等が必要な重度被災労働者などに対して、労災疾病について専門的な知識をもつ看護師等による訪問支援を実施)</p>	<p>・利用者からの、介護、看護、健康管理、精神的ケアなどが有用であったとする評価：94.7%</p> <p>・重度被災労働者などに対する訪問支援実施：13,817件</p>